

# 「ヒダスケ！」飛騨市の関係案内所 ～合言葉は、お互いさま～



とにかく大好きな〇〇を  
一緒に盛り上げる仲間がほしい。

農産物の収穫を  
手伝ってほしい。  
新商品や企画の  
アイデアが欲しい。

観光案内所とは  
違います！  
“飛騨市の助っ人”  
“飛騨のお助け”と  
つながる案内をします！



市民の皆さんも  
ぜひご参加  
ください！

### クラウドファンディングの支援

1万人に1人！飛騨の米職人が作った  
希少なお米「万天」を食べてもらいたい

786,000円  
目標金額 1,000,000円

176人  
残り 14日

プロジェクトを支援する

### イベントの企画・運営支援



景観保全作業



農作業支援



お祭りへの参加

## ■昨年4月に創設された「ヒダスケ！」飛騨市の関係案内所をご存じですか？

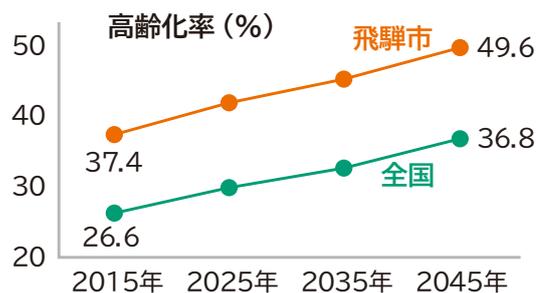
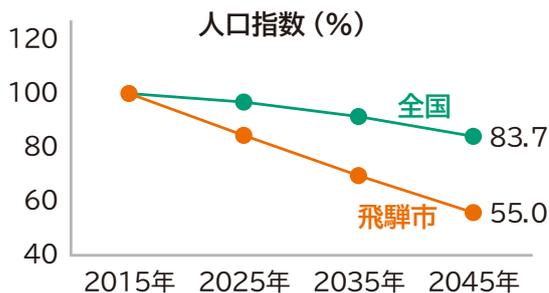
簡単に説明すると、地域にあるいろいろな困りごとを解決するため、全国の皆さんの力をお借りしながら、人々の交流と支え合いを生み出す仕組みのことで。

観光や飛騨市ファンクラブの活動などを通じ、飛騨市の良さや魅力を感じてくださったことをきっかけにして、「飛騨市の皆さんとつながりたい」「飛騨市のためにお手伝いをしたい」と熱心に考え、行動して下さる地域外の方がたくさんいらっしゃいます。

「ヒダスケ！」はそうした方々の熱意やスキルと、市民や事業者の皆さんが抱えている困りごとをマッチングすることで、人口減少が進む地域の課題の解消につなげ、まちに賑わいをつくろうという取り組みです。

## ■「ヒダスケ!」飛騨市の関係案内所がスタートするまで

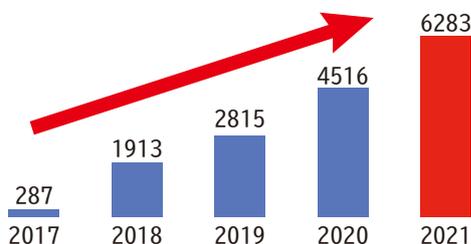
### ①活動の背景



全国平均の30年後を上回る高齢化率、全国平均の倍以上のスピードで人口減少する「人口減少先進地」である飛騨市では、人口減少に伴う課題が次々と出ています。地域活力を維持するためには「地域内外の人との交流」がポイントになると考えました。

### ②飛騨市ファンクラブの設立

飛騨市ファンクラブ会員数 (人)



心を寄せてくださる方を見える化して、会員との交流を行っています。会員は全国に6,200名。飛騨市の情報をタイムリーにお届けしています。観光・お買い物・お手伝いなど、関わり方は多様です。

### ③「ヒダスケ!」をスタート!

ファンクラブ会員の中から「お手伝い」「お助け」を希望する方が増えてきたことから、その部分に注目した仕組みをスタートしました。

市民や事業者の皆さんが、今困っている事や力を借りたい課題について、主催者としてプログラムをつくって登録。それをSNSやサイトで発信して参加者を募ります。それに応募・参加して下さった参加者の皆さんには、様々な体験を楽しんでいただいたり、野菜や地域通貨などのささやかなオカエシをします。「ヒダスケ!」にはもちろん、市民の皆さんにも参加していただけます。

昨年は45のプログラムが実施され、延べ400人の参加がありました。また、クラウドファンディングから地域のファンづくりを進めようと支援を行っており、昨年は10プロジェクトの支援を行いました。全10プロジェクトの総支援者数は1,979人となり、総支援額は21,382,970円となりました。今年はより充実させ、60のプログラム実施に挑戦しているところです。コロナ禍でも様々な接点をつくり、市に関わる人を増やしていきます。



## ■体験された皆さんから貴重な意見が寄せられています。

#### 【主催者の皆さん】

- ・プログラム終了後に、商品を買ってくださる方やクラウドファンディングをする人がいた。
- ・SNSでつながり、継続的な接点を持てた。
- ・ヒダスケを活用して、人を募集し、集まること自体が話題になる (SNSのネタになる)。
- ・人手不足解消の一助になった。

#### 【参加者の皆さん】

- ・地元の方々と交流できて嬉しかった。今後も交流や商品を注文したい。
- ・なかなかお会いできない方に会えたので嬉しかった。
- ・主催者の方のアツイ想いを知ることができて共感できた。これからも関わりたい。





# 仲間と一緒に汗かいて 知恵をしばれば困りごとにも楽しい!

## 体験・作業

宮川町種蔵地区の景観保全の一環として「myみょうが畑プロジェクト」を開始しました。

同地区の美しい景観を維持するために、みょうが畑の復活を目指すものです。

地元生産者の方と一緒に年3回、草取りや間引き、収穫などの作業に汗を流します。

オカエシとして収穫したみょうがのお持ち帰りやみょうが料理の試食もあり、好評を得ています。

他に集落の石積みの補修のワークショップ、草刈り作業などもあり、支援の輪が広がっています。



## 商品・レシピ開発

市内事業者の食品の新しい食べ方やアレンジしたレシピなどを提案していただき、PRにつなげます。

また、参加者と主催者をオンラインでつないで製品の試食をしながら、食べ方の組み合わせやPR方法などについて話し合う場も設けたりします。

井之廣製菓舗やモリモ食品、ありがとうファーム、けさまるりんご園などのプログラムが開催され、市内事業者の商品のブラッシュアップや新商品開発の一助になっています。



## 広報・PR活動

参加者の皆さんに飛騨市産のお米を食べていただき、その感想や食べ方の提案について投稿いただく「おこめ部アンバサダー」を設けました。選ばれたアンバサダーにはお米をプレゼントし、その後も月に2、3回ご投稿いただくプログラムを実施しました。その他、かわいい野草茶研究グループや三嶋和ろうそくの広報プログラムが開催されました。

また、宮川下流漁協の鮎のブランド化に向け、そのネーミングやロゴデザイン製作のお手伝いを募り、「飛騨のあばれ鮎」としてPRを始めています。



## 人足? ちょっと違います。

「ヒダスケ!」には、地域や事業者の皆さんの「困りごとを解決する」という役割があり、「人足」とは違った意味合いがあります。

参加者の皆さんは、飛騨市を愛してくださっています。それは、一時を観光で楽しんだというだけでは生まれるものではありません。各々が、これまでの暮らしでは得られなかった何らかの価値を、飛騨市の中に見出してくださっています。その価値が「今後もずっと継続して守られていってほしい」と強く願われながら、汗をかき、知恵をしばって一緒に行動してください。地域が継続してほしいという願いは、住民と同じ。その「共感」が大きな特徴で、その場限りの「人足」でもない理由です。



## プログラムの掲載や募集の流れ

■主催者としてプログラムを開設するまでは、次のような流れになります。

### ①利用登録

飛騨市の公式ホームページにある『ヒダスケ!』利用登録申込書兼誓約書に必要な事項を記入し、事務局（地域振興課）に提出してください。※メールでの提出も可



### ②プログラム登録

「ヒダスケ!」のプログラムについて、登録フォームから必要事項を入力し、提出してください。



### ③募 集

事務局による確認（1週間程度）の後、募集を開始します（申請から2週間以内）。SNS等を活用しながらPRを行います。



### ④プログラム開催

プログラムを実施します。当日、事務局が現地のサポートをします。



### ⑤振り返り

終了後、Webアンケートに回答していただきます。また、当日の様子などをご紹介します。

■飛騨市ホームページ（右QRコード）

※利用規約やプライバシーポリシーに同意いただいた上でご利用ください  
※不明点などについては、地域振興課までお問い合わせください



## いろいろな想いで参加できます

- ・「ヒダスケ!」の事業に関心がある、または利用してみたい
- ・人手不足を解消したい
- ・自分の事業の認知度を高めたい
- ・事業のファンづくり（リピーター、担い手づくり）をしたい
- ・困りごとや、いろいろと試してみたいことがある
- ・新しいことにチャレンジするために、協力してくれる仲間を集めたい

迷った時は  
ご相談  
ください!

2020年7月より、地域おこし協力隊として移住し、ヒダスケの運営事務局として、企画や運営などを担当しています。ぜひ皆さんの何か一助となればと思います!

今後実施するプログラムはホームページ（右QRコード）をご覧ください。

プログラムへの市民の皆さんの参加も大歓迎。申し込みをお待ちしています。



「ヒダスケ!」担当 地域おこし協力隊 永石智貴さん



「ヒダスケ!」の活動について動画を公開しています。QRコードから動画をご覧ください。

